A

昭25(4)

公判年月日：47年6月6日
求刑：「組織的暴虐」廉ヨリ以ヨ懲役15年
陳述及ビ証言：省略

以上，証言中空欠ケモノハ，立テ証言中述ベラレタル事実ヘ，被告，任近ニ於ケル陳述ト符合シ又空欠証言ニ依リ事実ガ裏書キセラレタリ。又テ空欠証言ノ計謂ヘヲ調製官，宣誓ニ規定通リ朗読シ，被告ニ起訴ノ事実中 d)地ト K)地ノ除ク他，真ニ認メリ。d)地ニ関シテハ「憶エナイ」トセズ又，K)地ニ関シテハ，被害者ノ失神セシメル程，暴力ヲ用ヒタルトニ警テナル述ベ方認ヘラレタモ，此ニ真ヲ以テ，The Siae Liau及ビ The Swie Siang ナル娘ノ者ヲ，隊長，林田大尉，命ニ依リ暴力ト脅迫ヲ用ヒテ強ヒ目的ヲ以テ，同大尉，家ヘ強制的ニ連行セシ件ニ対シテモ有罪（クルモノ）ト認メリ。

被告ニ又，ガ犯セシ暴行行為ニ，苛酷ニシテ殘虐ナル印象ヲ与フルモノアリ。又，暴力ヲ行使スルニ当リ得ル既定ナリキト釈明シ行ヒタルモ，上記，諸証言ニ依リ被告ハ，部下ニ「ガー」人，手下ニ依リ犯サレタル暴行行為ニ起訴ノ事実通リ，方法ニ依リ行ハレタル起訴ノ事実通リ，被害ヲ被害者ニ与ヘラレタルガ明白トナリ。

犯ニ一方，於ケル警察業務自体，取調ベニ当リ容疑者又ニ対スル人的暴力ヲ使ヒ，陳述ノ得ルヲ絶対ニ許サレヤラズ。

故ニ被告ガ Dew Pasar，特務隊長ノ命ニ，日本軍ニトリ好マシカラザル行為ヲ犯シタル或ハ犯シタル容疑ノ為，特務隊ニ手渡セラルル人ニ対シ行ハレタル暴行行為ニソノ動機ヲ以テ恐怖ト奴隷的素質ヲ与エルニ目的ヲ行ヒタルモナルモ，此ノ目的ニ被告ニ於ケル恐怖政治ガ組織的ニ行ハルニ至リ，且又此ノ状態ガ維持セラレタリ。

又，起訴ノ事実中ニハ「婦女ノ上官ニ従ヲセリト事実ニ立証セラレタルモ，此ノ事実ニ婦女ニテ暴虐行為ヲ行ハレタルニアラズテ，被告上官ノ「林田大尉」ノ為ニ行ハレタルモノナルモ，此ノ目的ニソノ動機ヲ充タラレタルモノナル以テ，我犯行為ハ「暴虐，強制」ニ該当セズ。然リトテ被告，斯カル行為ニソノ他有罪ト立証セラレタル諸行為ト共ニ，被告，行ヒタル「ソノ行為」ノ一種ノ動機ヲナルモノナルヤニ疑ヒナキモノトス。

故ニ被告ガ起訴ノ事実中ニ挙ゲラレタル以上ノ点ニ対シ有責ナルヤニ立証セラレタルモ，被告ノ目的行為ノ非ズテソノ手下ニ依リ犯サレタルノ実ニ対シテモ被告ニ同ジク有責タラザルベカラズ（カラバ）被告ニ之ヲ行為ニ対シ直接命ヲヘタルカ，或ハソノ黙認シタルヤヲ以テ罪ヲ問ヒセラルルヲ以テナリ。故ニ被告ハ以上「組織的暴虐」ノ我犯行為ニ該当スル事実ニ対シ有罪ニテ下記，諸法令ヲ基ク刑ノ判決ヲ受ケザルベカラズ。

況ノ被告ニ課スベキ刑ノ量ニ関シテハ、色イロ話ヲ交ワス。
即チ被告ハ予審訊問ニ於テ既ニ殆ンド全部ヲ認メ、仮ニ於テモ之ノ衆任ニカル事実、
及ビ起訴ヲ受ケタ点ニ関シテハ最初ニ上官ヲ庇フ為メ、上官ノ命ニ依リ又上官ノ
為ニ行ヒタル行為カルヤヲ説明シカル事実ニ表ハレタル被告ノ態度。
更ニ被告ノ行為ノ相異、酌量スベキハ、本軍法会議ガ他ノ戦犯ノ件ニテ認メタル
ガ如キ手ヌルカル残忍性ヲ認メラレザリシ事実。
以上ノ点ヲ考慮シテ被告ヲ最苛酷ノ戦犯行為ニ対シ得ル12年ノ懲役刑ヲ以テ
非常ニ相当ノ刑ト思考ス。
依ッテ46年官報第44, 45, 46並ニ47号ノ(1)ニ依リ、被告 A ヲ戦犯行為
「理由的罪名」ノ廉ニ依リ懲役12年ニ判決ス。

執行命令発令日：？
判決言渡年月日：47年8月4日。
裁判長：J. La Riviere 中佐(Mr.)
陪席：L. F. de Groot 少佐(Mr.)
J. G. H. van der Stamp 中尉(Mr.)